

武庫川づくりシンポジウム

健全な水循環社会と流域総合治水 地球温暖化時代にむけて

住民参画型流域総合治水の先駆けとなった新しい武庫川づくりがはじまり 15 年。総合治水に向けた武庫川流域委員会の提言書から 10 年。武庫川水系河川整備計画による河川整備事業の実施から 5 年を超えました。

この間、全国的には流域総合治水を広い視野から位置づける水循環基本法および水循環基本計画がつくられました。このような節目の年にあたり、これから水循環社会と流域総合治水の意義を考えるシンポジウムを開催します。これに先立ち、2月5日(日)には武庫川づくりフォーラムも開催します。

開催日時 平成29年3月18日(土) 13:00~15:30

開催場所 神戸市教育会館大ホール
(神戸市中央区山手4丁目10-5)

参加者定員 230名 参加費 無料・申込不要



【基調報告＆討論】 テーマ：住民参画型の武庫川づくりと流域連携をどう進めるか

口パネリスト



武庫川の治水対策と
総合治水条例の展開
兵庫県知事
関西広域連合長
井戸 敏三 氏



滋賀県の流域治水から、
河川行政の未来像を展望する
前滋賀県知事
びわこ成蹊スポーツ大学学長
嘉田 由紀子 氏



新しい川づくりの幕開けと現状
淀川水系と河川行政の転換期に立ち会って
元水循環基本法フォローアップ委員
元淀川流域委員会委員長
宮本 博司 氏



武庫川づくりのパートナーとして
どう関わってきたか
武庫川づくりと流域連携を進める会理事長
元武庫川流域委員会委員
佐々木 礼子

口コーディネーター

「気候変動による局地豪雨に対する河川行政や住民の対応」「住民の参画と協働による流域連携の進め方」「流域総合治水を全県に広げていく課題」などについて兵庫県、滋賀県、国土交通省、流域住民の対応を話し合います。



市民まちづくり研究所所長
元武庫川流域委員会委員長
松 本 誠

共 催 武庫川流域圏ネットワーク・武庫川づくりと流域連携を進める会・武庫川市民学会
後 援 兵 庫 県 主 管 武庫川づくりと流域連携を進める会

お問い合わせ 電話 0797-81-2782 携帯 080-1437-1193(理事長佐々木) 090-2289-2649(事務局長吉田)
Fax 0797-51-1043 E-mail partnershipinmukoriver@gmail.com URL <http://2011muko.jimdo.com>

タイムテーブル

13:00	□ 開 会	主催者のあいさつ	武庫川流域圏ネットワーク代表 山本 義和
13:05	□ 基調報告と討論	「住民参画型の武庫川づくりと流域連携をどう進めるか」	
	パネリスト		
		「武庫川の治水対策と総合治水条例の展開」	井戸 敏三 氏
		「滋賀県の流域治水から河川行政の未来像を展望する」	嘉田 由紀子 氏
		「新しい川づくりの幕開けと現状～淀川水系と河川行政の転換期に立ち会って」	宮本 博司 氏
		「武庫川づくりのパートナーとしてどう関わってきたか」	佐々木 礼子
	コーディネーター		松本 誠
15:30	□ 閉 会		

パネリスト、コーディネーターのプロフィール (敬称略)

井戸 敏三 兵庫県知事

1945年兵庫県たつの市生まれ。東京大学法学部卒。自治省入省後、鳥取県、佐賀県、宮城県、静岡県、国土庁土地局、自治省税務局を経て、運輸省航空局、自治省行政局、財政局、大臣官房各課長を歴任。震災直後の1996年自治大臣官房審議官から兵庫県副知事に就任。2001年から兵庫県知事4期目。2010年発足した関西広域連合の連合長に就任し4期目。武庫川流域委員会の提言(2006年8月)を受けて、武庫川水系河川整備計画を策定(2011年8月)。その後、総合治水条例を制定(2012年4月)し総合治水を全県に広げる方針を掲げた。

宮本 博司 元・国交省近畿河川部長 元・淀川水系流域委員会委員長

1952年京都市生まれ。京都大学大学院工学研究科修士課程修了。建設省入省後、技官として河川行政一筋に河川開発課、苦田ダム、長良川河口堰担当などを経て1999年淀川河川事務所長として淀川水系流域委員会を立ち上げる。近畿地方整備局河川部長、国交省河川局防災課長を経て2006年退職。家業の株式会社代表取締役を引き継ぎながら、一市民として応募した淀川水系流域委員会委員長を2007年～2008年担う。自称「樽職人」

嘉田 由紀子 前・滋賀県知事

1950年埼玉県本庄市生まれ。京都大学大学院農学研究科後期博士課程修了、農学博士。ウイスコンシン大学大学院修了。滋賀県立琵琶湖博物館、京都精華大学人文学部教授を経て、2006年滋賀県知事に当選。2期8年務める。知事就任前に委員として関わっていた淀川流域委員会時代から構想していた、まちづくりと連動し河川政策と土地利用政策などを氾濫原管理や避難体制とつなぐ新しい河川政策を「滋賀県流域治水条例」として制定。琵琶湖、淀川の上・下流連携などにも、ガバナンスの視点をひろげた流域河川管理を提唱している。

現在、びわこ成蹊スポーツ大学学長。

佐々木 礼子 武庫川づくりと流域連携を進める会 理事長

1960年大阪市生まれ。京都大学大学院工学・医学研究科安寧の都市クリエーター建築都市計画事務所勤務を経て、1988年建設コンサルタント事務所設立。首都圏や関東、東北、中部、近畿、九州で都市や河川、砂防、港湾、道路、公園緑地などの各種計画・景観調査等に関わる。1995年ひょうごまちづくりアドバイザー、2004年武庫川流域委員会委員として武庫川づくりに関わる。兵庫県環境審議委員を歴任。

現在 (有)IDP 代表取締役。

松本 誠 市民まちづくり研究所所長 元・武庫川流域委員会委員長 関西学院大学等非常勤講師

1944年明石市生まれ。元神戸新聞記者。退職後は環境問題やまちづくり、地域経済、地方自治などを専門分野とした市民シンクタンクを設立。明石まちづくり研究所、市民自治あかし、CODE海外災害救援市民センター、集合住宅維持管理機構などの代表や役員を多数兼ねる。武庫川や千種川などの川づくりにも関わる。